

## 平成28年7月定例教育委員会会議録

日 時	平成28年7月22日（金） 午後1時30分～午後3時00分
場 所	秦野市役所教育庁舎3階大会議室
出席委員	委員長 望月 國男 委員長職務代理者 高橋 照江 委員 飯田 文宏 委員 片山 恵一 教育長 内田 賢司
欠席委員	なし
委員以外 の出席者	教育部長 水野 和成 生涯学習課長 佐藤 正男 教育部参事 鈴木 健次 図書館館長 石井 勇次 教育総務課長 山口 均 スポーツ推進課長 内藤 道夫 学校教育課長 遠藤 秀男 教育総務課課長代理（庶務担当） 守屋 紀子 教育指導課長兼 教育総務課庶務担当主事補 山口 優真 教育研究所長 佐藤 直樹
傍聴者	1名
会議次第	<p style="text-align: center;"><b>7月定例教育委員会会議</b></p> <p>日 時 平成28年7月22日（金） 午後1時30分</p> <p>場 所 秦野市役所教育庁舎3階大会議室</p> <p style="text-align: center;">次 第</p> <p>1 開 会 2 会議録の承認 3 教育長報告及び提案 （1）平成28年8月の開催行事等について （2）子ども等に関する事案について （3）第34回教育研究発表会について （4）平成28年度ふるさと講座について （5）はだの史・発見展 Part II 山の日記念「丹沢 山ものがたり」について （6）市指定無形文化財「鶴巻下部大山灯籠行事」「瓜生野百八松明・盆踊り」について （7）ミュージアムさくら塾「集落から見た西相模の古代社会」について</p>

	<p>(8) 美術館ワクワク探検「ガラスアート ガラス絵体験教室」について</p> <p>(9) 第7回親子川柳大会の作品募集について</p> <p>(10) 第34回子どもの市展の作品募集について</p> <p>(11) 第43回親と子の音楽会の参加団体募集について</p> <p>(12) 第30回夕暮記念こども短歌大会作品募集について</p> <p>4 議 案</p> <p>(1) 議案第28号 平成29年度に使用する小学校の教科用図書の採択について</p> <p>(2) 議案第29号 平成29年度に使用する中学校の教科用図書の採択について</p> <p>(3) 議案第30号 平成29年度に使用する学校教育法附則第9条による教科用図書の採択について</p> <p>(4) 議案第31号 秦野市いじめ問題対策調査委員会への諮問について</p> <p>5 協議事項</p> <p>(1) 平成28年度教育委員会教育行政点検・評価について</p> <p>6 その他</p> <p>(1) 採択した陳情について</p> <p>(2) 第1回総合教育会議について</p> <p>(3) 東海大学チャレンジセンター病院ボランティアプロジェクト 絵本読み聞かせ会について</p> <p>(4) 平成28年度秦野市総合防災訓練について</p> <p>(5) 「いじめを考える児童生徒委員会」のSOSカードの配布について</p> <p>(6) 宝くじスポーツフェア ドリームベースボールについて</p> <p>7 閉 会</p>
会議資料	別紙のとおり

望月委員長

ただいまから7月の定例教育委員会会議を開催いたします。お手元の会議次第に沿って進めさせていただきます。

まず、「会議録の承認」についてですが、ご意見、ご質問等がございますか。

—特になし—

望月委員長

それでは、ないようですので、会議録を承認いたします。

次に、秘密会の取り扱いについてですが、3の「教育長報告及び提案」の(2)子ども等に関する事案については、個人情報等が含まれているので、秘密会の報告としてよろしいでしょうか。

—異議なし—

望月委員長

よって、3（2）は秘密会といたします。

それでは、「教育長報告及び提案」について、お願いいたします。

教育長

それでは、資料のNo.1をご覧いただきたいと思います。「8月の開催行事等」です。

まず、8月2日から4日ですが、例年実施しております洋上体験研修でございます。現時点で97名の参加を予定をしております。今回は私が同行させていただくということにしております。

8月の同じく2日から14日まで、8月11日の「山の日」の記念の「はだの史・発見展PARTⅡ」ということで、宮永岳彦記念美術館の市民ギャラリーで実施をいたします。

4日、5日は、1泊2日で28年度の新規採用教員の宿泊研修会。野外センターです。

同じく4日から14日、展示「山のたのしみ」ということで、図書館の1階の閲覧室で、山を題材としたエッセイ、小説等を展示をいたします。

8月5日、28年度の中学校の教員向けの「武道（柔道）」の講習会ということで、東海大学の指導のもと、中地区の教員を対象に実施をしていただきます。

8月6日、土曜日です。ふるさと講座第2回でございます。こども館で実施をいたします。

9日と30日は、例月実施のブックスタートでございます。

次のページをご覧ください。

8月10日から3月12日まで、宮永岳彦記念美術館の展示会ですが、10日から半年間実施をいたします。

14日、下大槻百八炬火行事。

同じく瓜生野百八松明行事ということですが。

同じく、瓜生野百八松明が終了した後に、これも指定の文化財ですが、瓜生野盆踊りが実施されます。

8月17日、第3回の園長・校長会。この園長・校長会は、教頭が対象となっています。

8月18日、第3回のいじめを考える児童生徒委員会です。鶴巻公民館で実施いたします。

19日が定例の教育委員会会議。

土曜日、ミュージカルさくら塾の②でございます。桜土手古墳展示館でございます。

22日、文化会館を会場に、ソーシャルスキル研修会を実施いたします。小中学校の教員を対象です。

教育研究所長

同じく22日、コミュニティ・スクール研修会。会場は西中学校でございます。

24日午前中ですが、28年度第1回の総合教育会議を予定しております。

同じく24日午後ですが、第34回の教育研究発表会。文化会館の小ホールです。

同じく24日ですが、いじめ問題対策調査委員会。これは19時からで、諮問を予定しております。

25日、環境教育研修講座ということで、この庁舎の3階大会議室で実施をいたします。

26日がコミュニティ・スクール研修会ということで、文化会館の第1会議室を会場に行います。研究実践校の堀川小学校の教職員、保護者と地域の方が対象者です。

28日が総合防災訓練。今回は主会場は上小学校でございます。

29日、2学期の始業式です。小中幼稚園。

同じく29日月曜日に、小中幼稚園避難訓練の実施。防災訓練です。

8月の行事については、以上でございます。

この後は、各課長から説明いたします。

では、資料3番をご覧ください。34回目を迎えます教育研究発表会についてでございます。

日時につきましては、ご覧のとおりになっています。

発表内容ですが、黒い菱形の部分にありますけれども、調査研究ということで、今年度、幼小中一貫教育（地域・郷土史）研究部会から1本。加えて、自主研究の部から体力向上の観点で平成26年度に体力づくりの研究で文部科学大臣表彰を受けました、しぶさわ幼稚園の北村副園長に自主研究を発表していただきます。

さらに、グループエンカウターの取組みから、南が丘中学校の中塩総括教諭の1本を予定しています。ご存じのように、グループエンカウターは、生徒同士の心理的な結びつきを強くするプログラムでございます。

また、子どもを育む中学校区懇談会の部ということで、今年度は渋沢中学校区、「渋沢の子どもを育む懇談会の取組」ということで発表がございました。

なお、例年どおり、園小中と同じ程度の参加をみているところではございますが、前回、片山委員のほうから公開講座の意義づけについて貴重なご意見をいただきました。そのご意見を参考に

生涯学習課長

しまして、今回は、どちらかというと、今まで、聞くだけの講演の色合いが強かったんですが、各セッション、アクティブラーニングの手法という意味で、魅力あるコンテンツを目指して構成をさせていただきます。

一例としましては、幼小中一貫教育（郷土史）研究部会では、実際にふるさと秦野検定のもとになっているものがありますので、ミニチュア版を体験していただくか、参加していただいた方に、ふるさと秦野検定を体験していただくかなというふうに考えております。

最後に、改訂されました「秦野の野鳥」につきましては、現在、販売予定で作成した1,000部作成したのですが、既に3カ月で750部売り上げております。大変好評をいただいております。大変好評をいただいております。そうしたことも含めて、今年の5月に全国野鳥の集いで常陸宮様にも聞いていただいた、大根小学校の取組みなども映像で伝えたいと考えています。

以上でございます。

生涯学習課からは8件の報告事項をご説明します。

最初に、資料4の「ふるさと講座」ですが、この講座は、わがまち秦野の地域資源や魅力などを再発見し、その学習成果を地域に還元するきっかけづくりとして開催しています。

この講座は、名称などは変遷していますが、昭和61年から継続的に行ってきています。今年度は資料のとおり家庭教育や地域の資源にスポットを当て、7月から来年2月まで7回シーズンで取り組んでいきますが、受講生以外も参加できる公開講座を本市にゆかりのある著名人を講師に迎え2回ほど開催します。お手元には9月3日に開催する本市出身の元プロボクサーが講師となる公開講座のチラシを添付していますので、ご都合が付けばご参加いただきたいと思います。

続きまして、資料5「はだの史・発見展」ですが、市所蔵資料を通じて秦野の歴史的過程を広く紹介するもので、今年度2回目として1回目と同様に、8月11日の「山の日」を記念した展示について、丹沢資料保存会の協力を得て8月2日から14日まで宮永岳彦記念美術館で開催します。

今回は「丹沢山ものがたり」をタイトルに、戦前から丹沢に登り始め、ガイドブック等を多数執筆した故奥野幸道氏が撮影した写真を中心に、丹沢山麓の今昔や魅力などを紹介していきます。

また、前回報告しました1回目の「丹沢登山昔むかし」について、お手元に来場者向け資料を配付しましたが、昨日から8月

28日まで桜土手古墳展示館で開催します。

なお、「山の日」は、本市の魅力を発信する絶好の機会ということで、全市的に事業に取り組んでいます。参考までに各種事業を紹介する資料を配付しましたので、後ほどご覧ください。

続きまして、資料6の「市指定無形文化財行事」ですが、まず、昨年7月に市文化財に指定した「鶴巻下部大山灯籠行事」についてですが、200年以上にわたって地域で守り続け、江戸時代中期以降の大山信仰の様相を示す貴重な行事です。大山詣が盛んだった「夏山」と呼ばれる期間に、道標の役割を果たす木製の「大山灯籠」を組み立て、明かりをともしもので、現在も保存会の手で、毎年7月25日に鶴巻第一自治会館の敷地内で実施されています。

次に、資料裏面の「瓜生野百八松明・盆踊り」ですが、この行事は、弘法山のふもとの南矢名の瓜生野地区で、江戸時代から五穀豊穡と悪疫退散を祈願し、伝承されてきた行事です。旧盆の8月14日に保存会の若者が、権現山から麦わら製の松明を担ぎ、龍法寺の門前まで駆け下る「百八松明」が行われ、その後南矢名上部町内会館で「盆踊り」が行われます。

「百八松明」は昭和50年に、「盆踊り」は昭和52年にそれぞれ市文化財に指定しています。

続きまして、資料7の「ミュージアムさくら塾」ですが、今年度2回目となる今回は、8月20日にかながわ考古学財団の職員を講師に迎え開催します。内容は、新東名高速道路や圏央道などの建設事業に伴い、県内西部地域での発掘調査により、明らかになった古墳時代から平安時代までの集落社会を学びます。

続きまして、資料8の「美術館ワクワク探検」ですが、宮永岳彦記念美術館では、毎年夏休みに小中学生を対象に、つくる楽しさや喜びを実感してもらう創作教室を開催しています。

22回目となる今回は、7月30日に美術館市民ギャラリーで、秦野美術協会の協力を得て、ガラス絵を創作します。既に募集は終わり、定員20人の申し込みを受けています。

また、美術館では、半年ごとに常設展示室の展示替えを行いますが、8月10日から来年3月12日まで「彩と響」をタイトルに、色彩豊かな舞踊や楽器演奏の女性像などを紹介していきます。

続きまして、資料9の「親子川柳大会」ですが、家庭の日常的な出来事などを川柳で表現し、親子や家族の絆を深めることを目的とし、今回で7回目を迎えます。

作品は、親子などが2人1組で初句と辺句の2つの句を1点と

図書館長

して共同で作成するもので、昨年は1, 112点の応募があり、内訳としては小学生が1, 064点、中学生が48点となっています。

9月2日まで資料に添付した応募用紙により、小・中学生とその保護者から作品を募集します。大会の運営や審査は、小学校と中学校の校長会、市P連の代表などで構成する実行委員会が行い、表彰式は11月19日に開催します。なお、入賞作品は作品集に掲載するほか、公民館で巡回展示し、広く紹介していきます。

続きまして、資料10の「子どもの市展」ですが、これも毎年開催し34回目を迎えますが、小・中学生を対象に、書道・美術・写真の作品を募集していきます。

9月2日と3日に保健福祉センターで作品を受け付けし、審査は書道協会、美術協会、写真連盟に依頼します。なお、応募作品は、資料裏面に掲載してあるとおり、9月29日から10月2日まで、全作品を文化会館展示室で展示します。

最後に、資料11の「親と子の音楽会」ですが、音楽を通じて、親子や地域の絆を深めるため、昭和49年から開催しています。

今回は、来年2月19日に文化会館大ホールで行いますが、現在、出演団体を募集しています。参加資格は、市内で活動している幼稚園から高校生までの音楽グループなどで、昨年は、西中学校吹奏楽部、南が丘中学校合唱部、西幼稚園など12団体が出演しました。なお、出演団体は、実行委員会にも参加し、事業全体の運営も担うことになっています。

生涯学習課からは以上です。

次第12、第30回夕暮記念こども短歌大会作品募集についてご説明いたします。資料No.12になります。

今回で30回目を迎えます夕暮記念こども短歌大会作品募集につきましては、市内の小学校4年生から中学3年生までの短歌を募集いたします。作品は1人1首で、テーマは自由ということで、作品の募集を行っております。

既に、各学校につきましては、募集の依頼に各校を回りましてお願いをしております。

締め切りは9月16日金曜日、図書館必着になります。今回も選者は、村岡嘉子先生に作品の選者をお願いしております。

裏面に、作品等の表彰について記載してありますが、市長賞から佳作まで、全体で50点を表彰の対象としております。

表彰式につきましては、11月26日土曜日、文化会館展示室で、午後1時半から行います。

望月委員長

また、作品につきましては、図書館の前田夕暮記念にも展示する予定になっております。

簡単ですが、図書館からは以上になります。

ありがとうございました。

それでは「教育長報告及び提案」について、(1)から(12)まであります。(2)の子ども等に関する事案については秘密会としますので、11あるわけですが、(1)から(6)まで、最初に質問、ご意見等を受けたいと思います。何かありますでしょうか。

片山委員

ふるさと講座ですが、これは参加者が18名ということなんですが、今回、定員はどのくらいですか。

生涯学習課長

定員は40名とし、例年は定員を満たしていますが、今年は残念ながら定員に満たない状況となっています。

片山委員

何か理由はあるんですか。

生涯学習課長

例年、秦野の歴史や自然を学ぶカリキュラムを中心としていますが、今回は「家庭教育」を主眼とした内容としました。

やはり、この手の講座は地域の歴史などに興味を示す方が多いことや、7回シリーズということが、受講者数に影響していると考えます。しかし、今回は公開講座を取り入れることで、市民の学習機会の提供に努めていますが、引き続き市民ニーズを的確に把握したうえで、カリキュラムを検討していきたいと考えます。

片山委員

ありがとうございます。

飯田委員

今の関連なんですけれども、このふるさと講座に関しては、公開講座以外は、いきなりこれに出てみたいといったときには、それはどうなんですか。

生涯学習課長

例年を踏まえて、全講座を学び、そこで得た知識などを地域に還元するという考えで進めていましたけれども、結果的には定員を満たない状況となりました。

ご質問の公開講座以外でも参加したいとの申し出があった場合は、柔軟に対応していきたいと思いますが、一方で受講生から2,000円の受講料を徴収していますので、その兼ね合いをどうするかという課題があります。受講料を按分するという考えもありますので検討していきたいと思います。基本的には全講座を受講できる方を対象に、当初は申し込みを受け付けています。

飯田委員

ありがとうございます。

望月委員長

2月18日、山田監督の「じんじん秦野編」、一昨日のタウンニュースを見ると、たばこまつりをセットして撮影が終わったようですが、この映画はいつ頃完成するんですか。



生涯学習課長	<p>正確な話ではありませんが、クランクインして短い期間、2カ月余りで撮影すると聞いていますが、いつ完成するかはわかりません。</p>
望月委員長 高橋委員	<p>ほかにどうでしょうか。(1)から(6)まで。</p>
	<p>ふるさと講座ですけれども、私も絶対に受講したいと思いましたが、行くぞ行くぞと思いながら、開催時期がお盆だったため、つい逃してしまいました。受講者の平均年齢が60.7歳と書いてありますが、今回の講座内容はもっと若いお母さんやお父さんに聞いていただきたいですね。何かこれだけで終わらせてしまうのはもったいないような気がしますので、学校の休みなど何かスケジュールに余裕があるときに、このような講座をもう一度やっていただけたらと思います。</p>
生涯学習課長	<p>生涯学習課では、ふるさと講座以外にも家庭教育の推進に向けた事業に取り組んでいます。今回1回目の講座である「親学」の講師の大森弘氏は秦野出身の方ですが、講座終了後にこのような機会を与えてくれたと喜んでいられましたが、委員のご指摘のとおり、本来、このような内容は若いお母さん方に知ってもらうことが大事だと思っています。先ほど述べました家庭教育講座の中で取り組むことも検討していきたいと考えます。</p>
望月委員長	<p>よろしくをお願いします。 ほかにどうでしょうか。</p>
	<p>教育研究所の発表会で、自主研究の後ろのほうに、発表3の構成的グループエンカウンター発表者、その下に臨床心理士とありますね。それから、子どもを育む中学校懇談会の部で、星印といえますか、コミュニティースクールについて、それから、野鳥の発表が大根小ということで、この星印はどういうふうに解釈すればいいですか。</p>
教育指導課長	<p>先ほどちょっと説明が漏れていた部分のご質問だと思いますが、それぞれ、発表した者に対して、意義づけ、価値づけをより鮮明にしていきたいなと思っています。ご存じのように、臨床心理士の鷺山先生は長く秦野市内でスクールカウンセラーとしてお務めをいただきました。現在は、秦野市を離れて他市等でご活躍をされているんですが、こういった方々に、この発表はこんな意義があったよ、こんな価値があったよということを意義づけ、価値づけをして助言をいただきたいというふうに思っています。</p> <p>ただ、通常であれば、助言というふうに入れるんですが、鷺山先生、かたくその辺は辞退をされて、感想というような形で載せさせていただきたいという、そういったご指摘がございました。</p>

それから、下のコミュニティースクールにつきましても、同じように、秦野市では、先ほど教育長のほうからお話がありました。コミュニティースクールがスタートしております。「渋沢の子どもを育む懇談会の取組」についても、これからコミュニティースクールのベースになるものだと考えていますので、そういったところでコミュニティースクールと関連づけて、現在の取組み状況を、教育指導課のほうから説明をさせていただきたいと考えています。

それから、先ほど大根小学校の取組みのことについては触れさせていただきましたが、そちらに同じように紙芝居の取組みというふうにございます。既に市内の2中学校で紙芝居をもって幼稚園、保育園、または福祉施設に出かけて紙芝居を活用した取組みをしております。そういったものもそれとして話していきたいなというふうに思っています。

以上でございます。

望月委員長　　そうすると、大根小の取組み、紙芝居、これを指導課のほうで誰かちょっとしゃべったりするんですか。

教育指導課長　　ご指摘のとおりでございます。

望月委員長　　これは工夫改善に努めてありますね。今までこういうことはなかったと思いますが。ありがとうございます。

教育指導課長　　最終的に、今、発表も詰め段階に入っております。そういったことも発表者と打ち合わせをしながら、発表していきたいと思っております。

以上でございます。

望月委員長　　ほかにどうでしょうか。

片山委員　　－特になし－

望月委員長　　それでは、(7)から(12)までいかがでしょうか。

片山委員　　親子川柳大会で市外在学者の応募状況ですが、市内在学者は学校を通じて提出で、市外在学者は郵送ということですが、郵送での参加というのはどのくらいあるのですか。

生涯学習課長　　すみません、手元にデータがありませんので、後ほどお知らせします。

片山委員　　そんなにはいない。

生涯学習課長　　市外の私学に通っている中学生もいますが、申し込みは少ないと思います。

片山委員　　それで結構です。ありがとうございます。

望月委員長　　これはおもしろいですよね。いい企画だというふうに毎年思っています。

片山委員	これに関してもう一ついいですか。川柳は生涯学習課で、短歌は図書館ですが、その辺、わかりにくくないですか。応募する立場から見ると。
生涯学習課長	親子川柳大会は、川柳を通じて親子のふれあいを深め、家庭教育の向上を図る。短歌大会は、地域文化への関心を高める。といったそれぞれ目的があります。図書館は、郷土の歌人・前田夕暮記念室などを備え、短歌のふるさとづくりを進めており、本市の場合は、短歌の関わる取組みは図書館が担当ということになっています。
望月委員長	親子川柳大会の後援は、国際ソロプチミストとか、ライオンズ、ロータリー関係がありますよね。これは、各賞をそれぞれの団体が出していると理解してよろしいでしょうか。
生涯学習課長	はい、そうです。
望月委員長	何かそれに付随してトロフィーとか、そういうようなものも出してくれるんですか。
生涯学習課長	受賞者に対し、トロフィーではありませんが、賞状と副賞が後援団体から提供されます。表彰式に後援団体の代表者から直接受賞者に授与されます。
望月委員長	わかりました。お金のほうのサポートはないですね。
生涯学習課長	はい。
望月委員長	それでは、ほかにどうでしょうか。
飯田委員	親子川柳大会の後援の件ですけれども、特別賞にロータリー、ライオンズとか名前が挙がっているんですけれども、秦野にはライオンズが3つ、ロータリーが3つありますが、中ロータリーや秦野ロータリーの名前がないのは、そこに話がっていないのか、ちょっと気になるのですが。
教育長	役割分担といいますか、例えば、図書館には中ロータリーが応援をさせていただいて、それぞれ分野別で重ならないように、分担してもらおうようお願いした経緯がございます。ですから、親子川柳大会には中ロータリーはありませんが、図書館の子ども短歌大会では中ロータリーに協賛していただいております。
飯田委員	わかりました。
望月委員長	英語スピーチコンテストは秦野ロータリーと名水と丹沢ライオンズ、国際ソロプチミストが支援していただくようになりました。
教育長	会員が伸び悩みもあって、大変苦勞されているということはわかっていますので、なるべく分担を。
望月委員長	そうですね。 ほかにどうでしょうか。

望月委員長

ー特になしー

それでは、ないようですので、「教育長報告及び提案」についてはこれで終わって、次に議案のほうに移らせていただきます。

今定例会には4件の議案が提出されています。

議案第28号「平成29年度に使用する小学校の教科用図書の採択について」の説明をお願いいたします。

教育指導課長

お手元にある議案のとおり、資料を配付してございます。義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行規則の一部を改正する省令等の公布、施行についてでございます。

まず、教科書の採択に関してなんですが、規則の一部を改正する概要は大きく2点になります。

教科書発行者、その他教科書採択に直接利害関係を有するものに不正行為があったと認められる場合には、同一の教科書を採択しなければならない期間であっても、採択権者の判断により採択が行うことができるというものです。

お手元の資料、1ページ開いていただいて、4行目になります。昨年度、多くの教科書発行者における許認可申請等の内容の外部への流出及び不適切な行為が行われたことを受けて行うものですが、という一文が入ってございます。今年4月にも報道等がありましたが、今までは、決められた教科書を使うという法令だったんですけども、今回の改正で、不適切な場合には途中で変えられるといった内容になっています。

次に、検定審査に不合格とされた翌年度に再申請を行い、検定審査に合格したことにより、新たに発行されることになった教科書がある場合には、同一の教科書の採択をしなければならない期間であっても採択権者の判断により、その教科書の採択変えを行うことができるという内容になっています。

こういった通知を踏まえた上で、それでは、議案第28号「小学校の教科用図書の採択について」の説明をさせていただきます。

小学校での教科用図書につきましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条、教科用図書は、政令で定める期間、毎年度、種目ごとの同一の教科用図書を採択するものとすることから、4年間は継続して同一の教科書を採択しなければならないこととされています。

小学校の場合には、ご存じのように、平成27年度から平成30年度までとなりますので、来年度は3年目でございます。資料のとおり、29年度の小学校教科書は今年同様に、資料のとおり報告をさせていただきたいと考えています。

望月委員長

以上でございます。

何か質問ありますか。

これは、27年度から30年度までのことで、しかも、4年間同一の教科書を使うというふうになっておりますので、お認めしていただけますか。

－異議なし－

望月委員長

それでは、議案第28号「平成29年度に使用する小学校の教科用図書採択について」原案どおり可決することにご異議ございませんか。

－異議なし－

望月委員長

よって議案第28号は、原案のとおり可決されました。

続きまして、議案第29号「平成29年度に使用する中学校の教科用図書の採択について」の説明をお願いいたします。

教育指導課長

続きまして、議案第29号「平成29年度に使用する中学校の教科用図書の採択について」の説明をさせていただきます。

中学校の教科用図書につきましては、昨年度採択を行いました。そこで、先ほどの小学校の仕組みと同じように、中学校の場合は、平成28年度から平成31年度まで継続することとなります。つきましては、資料のとおり報告をさせていただきます。

以上でございます。

望月委員長

これも小学校と同じく30年度、中学校が31年度ということですね。4年間。よろしいですか。

－特になし－

望月委員長

それでは、議案第29号「平成29年度に使用する中学校の教科用図書の採択について」は原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

－異議なし－

望月委員長

よって議案第29号は原案どおり可決されました。

続きまして、議案第30号「平成29年度に使用する学校教育法附則第9条による教科用図書の採択について」の説明をお願いいたします。

教育指導課長

続きまして、議案第30号「平成29年度に使用する学校教育法附則第9条による教科用図書採択について」の説明をさせていただきます。

この附則第9条による教科用図書ですが、ほかの教科用図書と大きく性格が異なるものがございます。通常、9条本と我々は呼んでいるのですが、9条による教科用図書と申しますのは、特別支援学級において、文部科学省の検定を経た教科用図書、または文

部科学省名義の著作を有する教科用図書以外の図書を採択することができるという規定になっております。

そこで、秦野市内におきましても、小中22校におきまして、特別支援学級の児童生徒に対して文部科学省の目録に搭載された教科用図書以外のものの希望等を保護者に呼びかけまして、毎年、教育委員会で議案として扱わせていただいております。

今年度、一般図書から教科用図書を希望した児童生徒は、小学校が28名、中学校が18名でございます。この46名は、一般図書、つまり、教科用図書を一般図書に差し替えて特別支援学級での教育活動に生かすというような仕組みになっております。

なお、資料の選定理由一覧等を小学校28名、中学校18名の児童生徒それぞれの選定理由等が資料に記されてございます。

この内容につきましては、教育指導課の特別支援教育担当指導主事が、その児童生徒の特性を確認して、保護者が希望しているという意向の確認を全て行った中で、今回の議案提出となっております。この資料をもって教育委員会議で承認された場合には、児童生徒は来年度使用できる教科用図書に認定され、来年度4月以降に支給されることとなります。

以上、ご審議のほうをよろしくお願いいたします。

何か、質問、ご意見ございますか。

これは、あくまでも保護者がということで、先生が決めるということでしょうか。

それぞれ支援学級のお子さん、いろいろなお子さんがいらっしゃいますので、1人の保護者だけの意見でなく、そして本人や先生方と話し合ったものを先ほど言ったように、指導主事が出向きまして、丁寧に調整しながら、意見として取りまとめているという現状です。

ほかにどうでしょうか。

それでは、議案第30号「平成29年度に使用する学校教育法附則第9条による教科用図書の採択について」は原案どおり可決することにご異議ございませんか。

—異議なし—

よって議案第30号は原案のとおり可決されました。

続きまして、議案第31号「秦野市いじめ問題対策調査委員会への諮問について」の説明をお願いします。

議案第31号「秦野市いじめ問題対策委員会への諮問について」説明をいたします。

資料をご覧ください。

望月委員長  
飯田委員

教育指導課長

望月委員長

望月委員長

教育指導課長

前回、協議事項の中でご説明させていただきましたが、いじめ防止対策推進法に基づく教育委員会事情聴取委員会として、秦野市いじめ問題対策調査委員会が設置されています。昨年度までの委員会の流れの中で、今年度から2年の予定で調査委員会の意見が具体的な教育委員会の施策に反映されるような形をとりたいという意向がございますので、今回、諮問という形をとりたいと考えています。

現在のところ、諮問予定内容につきましては、前回お話ししましたとおり、資料の1から3というようなことになるかと思いますが、かなり幅広いものになると思いますが、方向性として、発達の特徴がある子どもたちへのいじめが課題となっています。最終的には、今回の教育委員会会議に議案として提出させていただきますので、お認めいただければ、この後、諮問に基づいて答申までセットアップしていきたいと考えます。どうぞよろしくをお願いします。

望月委員長

これは、資料なんかは出るんですか。次のとおり諮問します。1、2、3ありますね。この件について諮問するわけですよね。

教育指導課長

はい。

望月委員長

今度の委員会はいつですか。

教育指導課長

8月24日を予定しております。

望月委員長

8月24日については、この3つについて諮問をするということですね。教育委員さんにも資料を渡すようにお願いします。

教育指導課長

基本的には第1回の諮問についての話し合いをする際に、今までの過去の経緯、昨年使ったものについて再度まとめたものを資料として活用させていただいておりますので、次回提出したいと思います。

以上です。

望月委員長

これは、委員総数分は大変ですから、次回の教育委員会会議でもよろしいかと思えます。

教育指導課長

はい。

望月委員長

ほかに何かありますか。

—特になし—

それでは、議案第31号「秦野市いじめ問題対策調査委員会への諮問について」は原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

—異議なし—

よって、議案第31号は原案のとおり可決されました。

次に、協議事項に入りますが、それでは、「平成28年度教育

教育総務課長

委員会の教育行政点検・評価について」お願いします。

それでは、お手元の協議事項（１）をご覧ください。教育行政点検・評価報告書についての協議でございます。

前々回５月の教育委員会議の際に、既に教育行政の部分についての教育委員会の活動についての部分のご議論をしていただいたところですが、今回は、２１ページ以降でございます。２７年度主要施策ということで、２５ページから今回使用するとして対象となった２４事業のシートをつけさせていただいております。

これにつきましては、自己点検評価としまして、事務局各課がこのシートを作成し、その後、担当課及び評価を、２２ページ、裏面になりますが、ＡからＣで評価をさせていただいて、その後、自己総合評価ということで、２６ページまでいくと、Ｂという評価をさせていただいております。

その後、その下に点検評価会議の評価というところで、ＰＴＡの役員さんですとか、元学校長の方、関係者、社会教育委員さんで組織する教育点検・評価会議、こちらのほうにも先月、評価を実施していただいて、評価と評価に対する意見、これをいただいたところでございます。

今後、教育委員による点検・評価ということで、本日、教育委員会議終了後に学習会を実施して、２６ページを例にとりますと、一番下の教育委員の評価及び評価に関する意見、これを最終的な決定評価として実施をしていくというふうなことになってございます。

そういったことで、まだ具体的なＡＢＣというような全体のものは、２２、２３ページのところにはございませんが、学習会を受けて、そこを実施していただいて、評価が入ってくるというふうなことでございます。

それとあわせて、現在、学識経験者による総合評価というふうなことで評価をしていただいているところでございます。そういったものが整いますと、８月の定例教育委員会会議のほうで議案として提出させていただいて、議決をいただければと考えてございます。９月の市議会第３回定例会において、点検・評価報告書について議会のほうに提出をし、それとともに、市のホームページのほうに公表していくと、そういった状況になってございます。ご意見をいただければと思います。

以上でございます。

それでは、全体的に気がついたことを言ってください。

点検・評価シートの中のＡＢＣで評価しているところで、昨年

望月委員長  
飯田委員



は多分一番下に、課題及び今後の方向性の欄、A B C Dで評価したんだと思うんですけども、今年はこの文章で報告ということ。

教育総務課長

実は、課題があるとか、今後でも取り組む必要が有る無しといった部分を実は入れておいたんですが、なかなか評価、とりあえず現時点での昨年度の施策について、それを評価する。より一層強く取り組んでほしいというふうになると、全てAになってしまうということも実はございまして、また一方で、逆に、評価がA BとかCなんですけれども、今後、より一層やってほしいというところとAになってしまうといったところがありまして、そこは、とりあえずやったことに対する点検・評価というふうなことで、そちらを中心に評価をしましょうと。今後ますます拡大・充実させる必要が有る無しは、評価の意見とか、そういったことで網羅していかうということ、より評価の項目的にはわかりやすいようなことで若干変えさせていただいています。

望月委員長

ほかにいかがですか。

20ページは教育委員会の活動状況に対する総合評価ということで、細かいことですが、上から5行目から6行目にかけて、これは教育委員の視察のことだと思うんですが、「また、研修会への参加や他市への視察などを行い、積極的な情報収集に努めている」。いろいろ視察に行かせていただいています、我々も大変勉強になっています。そういう点から踏まえると、積極的な情報収集と見聞を広めていくとかというふうに入れていただいたほうがよろしいかと思います。

教育部長

今、委員長ご指摘の総合評価の基本なんです、実は今、内部的に見直しを、手を入れさせていただいておりまして、今、委員長が言われる情報収集に努めているというだけじゃなくて、情報収集したものを秦野の教育の事業展開をやっているわけですから、山積している教育課題に少しでも対応するように、具体的な施策をご意見をいただきながら進めてございまして、そういった表現方法に変えさせていただくように、今、見直しを実はさせていただいております。ですので、まだ下のほうのいろいろ、まずご指摘いただく面もあろうかと思いますが、全体を含めて今手を入れ中なので、申しわけございませんが、後でまたご覧いただくように、今やっておりますので、よろしくお願ひします。

望月委員長

了解しました。ありがとうございます。私もあと用語の統一など何箇所か指摘したいことがあるんですけど、それは次回に回します。

片山委員

これは、委員長がおっしゃられたのと関係するかもしれないです。書き方が箇条書きで書いているところもあれば、びっしり書いているところもあって、統一されていないので、その辺は統一していただいたほうが良いような気がします。

望月委員長

各部各課によってもいろいろ事業の内容等が違ったりしていますが、今、片山委員の意見に沿ってできるものがあれば、そういうふうにしていってください。

ほかにいかがでしょうか。

これはこれから何回かありますので、特になかったら、次に移らせていただいてもよろしいですか。

ー特になしー

望月委員長

それでは、その他に入ります。

教育総務課長

「採択した陳情について」の説明をお願いいたします。

それでは、「採択した陳情について」ご説明をします。

その他の1という資料をご覧ください。

本年の6月の市議会の定例会において採択をしたというようなことで、陳情審査の段階で、教育委員会にかかわることに関係職員が出席したということで、関係する陳情について採択したというようなことで報告がございました。

内容につきましては、ここに書いてございますように、「子どもたちに豊かな学びを保障するために、少人数学級の実現、教育予算の増額、義務教育費国庫負担精度の堅持・拡大を求める陳情」というようなことで採択した。採択して、この陳情事項は、こういったことを秦野市市議会として国に意見書を提出してもらいたいという陳情ですので、その願意に沿って、市議会として国のほうに意見書を出すというふうなことになると思います。その報告でございます。

望月委員長

よろしいですか。

ー特になしー

望月委員長

では、次に、(2)の「第1回総合教育会議について」の説明をお願いいたします。

教育総務課長

その他の(2)をご覧ください。総合教育会議の開催についてでございます。

日時については8月24日水曜日、午前10時から。場所は教育庁舎大会議室になります。日程についてはすでに調整をさせていただいたところでございます。

議題につきましては、昨年度、第3回の2月24日に行いました総合教育会議の際に、予定というようなことで、28年度の先

ほどの点検・評価について、それと、27年度決算について、その他の教育課題に関する意見交換というふうなことになってございます。そういった中で、もしご意見があれば、総合教育会議の際に具体的な施策とテーマ等がありましたら、議題としていきたいと考えてございますので、ご意見をいただけたらというふうに考えているところでございます。

以上でございます。

望月委員長

何か去年やってみまして、今までの経験から、何かありますか。一特になしー

望月委員長

それでは、ないようですので、次に移ります。

(3)の「東海大学チャレンジセンター病院ボランティアプロジェクト 絵本読み聞かせ会について」の説明をお願いいたします。

教育総務課長

資料がその他の(3)でございます。読み聞かせ会の企画書という資料をつけさせていただいてございます。

東海大学チャレンジセンター病院ボランティアプロジェクトというように、実際、学生ボランティアになるわけですが、絵本の読み聞かせ会というように、1ページに、そのプロジェクトの内容ですとかということ、入院されている患者さんの不安を緩和するというようなこと、実際に病院に行ってそういうボランティア活動をやっていた学生さんたちの活動を認めて、医療ですとか、健康、衛生、そういったものに関する絵本の作成を行っている。そういった中で、絵本を読み聞かせの会ということで、特に子どもたちにそういった読み聞かせを開催して、医療や健康、衛生に関することをわかりやすく伝えていきたい。こういった活動をしたいということで、2ページ目のほうに、実施の内容、大根幼稚園は東海大学は大変近いところでございますので、大根幼稚園のほうに、こういった活動をしたいんですがどうですかというようなことでお話伺いまして、実は、一応日時は4日ほどあって、その一日と書いてあるんですが、実は7月15日に第1回目を実施してございます。15時半から16時半までの大体1時間ぐらいですけれども、大根幼稚園のほうで、2時半の保育時間終了後、今、預かり保育をやってございます。15日は園児は9名で、ボランティアの学生さんは3名だそうなんですけれども、30分程度ではなくて、1時間程度の読み聞かせを実施をしたというふうなことです。

今後も、9月にやっていくというようなことで、どうしても大根幼稚園は大学のすぐ横ですので、すぐできるということで、ま

た、ほかの園でもそういうことができるのかどうかということも投げかけさせていただいて、ぜひ学生さんのボランティアの活動に協力といいますか、逆にいろいろ教育のほうに採用していただければという考えです。

望月委員長

報告でございます。

何か質問、ご意見ございますか。

今、課長の説明によると、学生が大根幼稚園に直接行って、そうすると、東海大学のチャレンジセンターは、教育委員会に一言も連絡がないのですか。

教育総務課長

これはチャレンジセンターから直接はございませんでした。あくまでもプロジェクトをやっている学生さんたちの自主的な活動の一環として、直接大根幼稚園とというようなお話でございました。

望月委員長

それはまずいですよね。大学は、学生に任せる部分があつて、それはそれでいいんですが、秦野市と東海大学は事業提携を結んでいますので、きちんとチャレンジセンターの係なり担当が、教育委員会のほうにきちんと連絡をする必要があると思います。

片山委員

言っておきます。

望月委員長

実は、南公民館に、やはりチャレンジセンターの生徒が日本語教室の指導に来ています。最近、4月当初にチャレンジセンター担当が来てもらったり、教育委員会にもきちんと説明に来て、了解を求め、協力を求めるというふうにしているんです。ですから、これはそういうふうにしたほうがよろしいんじゃないかなと思います。これは大学の姿勢の問題です。

教育総務課長

実は、こういう東海大学のチャレンジセンターということで、東海大学さんから来て、逆に市のほうは企画サイドのほうで提携事業をやっていますので、こういうことがありますということで、うちのほうから提携事業の窓口の担当課のほうには話をしておりますので、逆にとっているかもしれないです。

教育長

確認をしてみます。

望月委員長

図書館でも上智の短期大学部のボランティアサークルが、英語の読み聞かせを行っています。私も今まで見たことがあるんですが、やはり上手ですよ。あれは親子を対象としていましたね。

図書館長

そうですね。

望月委員長

ただ、これはあくまでも教科学習のボランティアと同じで、学生は素人ですから、十分学校なり園のほうが、先生方がうまく支援、援助してもらおうということをする、また学生もボランティアをやりながら、自分自身を向上させることもできるんじゃない

かなと思いますね。  
ほかにどうでしょうか。  
ー特になしー  
それでは、次に「(4)平成27年度秦野市総合防災訓練について」の説明をお願いいたします。

教育総務課長 例年夏、8月末から9月の頭にかけて、総合防災訓練を実施していますが、28年度につきましては、資料にございますように、8月28日の日曜日、午前9時から正午までということで、防災訓練を実施します。

実施場所は市内の小中学校22校と自治会の避難場所というふうなことで、例年どおりの実施でございます。

本年度につきましては、中央会場は上地区というふうなことで実施をするといったことになってございますので、ご承知をいただきたくご報告をさせていただきます。

以上です。

望月委員長 すいません、ちょっと聞き取れなかったんですが、中央会場はどこになるんですか。

教育総務課長 上地区ですので上小学校です。

望月委員長 今年は中央会場は上小学校ということですか。

それでは、次に、いじめを考える児童生徒委員会のSOSカードについてお願いします。

教育指導課長 前回の教育委員会会議で、第2回はいじめを考える児童生徒委員会報告をさせていただきました。そのいじめを考える児童生徒委員会の取組みのご報告をさせていただきました。いじめを考える児童生徒委員会の取組みとしまして、9中学校の子どもたちが、SOSカードという形でカードを作成しました。7月20日の終業式に全児童生徒に配布をさせていただいています。お手元に9枚のカードがいつているかと思いますが、それぞれの中学校区で小中学生が協力してつくったもの。裏側には、共通書式でSOSカードという形でメッセージを書き込んだカードを配らせていただきました。

9月1日の重大事態発生が非常に高い2学期の初めに向けてメッセージを発信していこうという取組みで、今回配布させていただきました。また、8月18日、先ほど教育長の話にもありましたが、第3回はいじめを考える児童生徒委員会でも、子どもたちが相談しやすい、相談できるような空気づくり、環境づくりをやっていきたいと思います。研修会を行いながら、取組みを強化してまいりたいと考えています。

望月委員長

以上でございます。

質問ありますか。

これは、市内の小中の児童生徒に配布する。これは今9枚あるんですが、9枚全部。

教育指導課長

言葉が足りませんでした。それぞれの、例えばA中学校区の1枚をその中学校区の小学校と中学校に配ります。9枚ではなくて、1枚ずつ。ですから、9中学校区の学校で、それぞれ違うものが。表紙に関しては。裏側は同一のものになります。

望月委員長

これはいつ配ったんですか。

教育指導課長

7月20日の終業式に配らせていただきました。

望月委員長

これはせっかくなので、今、ちょっと心配しているのは、終了式に配ると、この日は学級担任はとても忙しいので、十分使い方を説明できなかつたと思います。2学期に折に触れてこの件について担任のほうから触れて、それで、子どもたちが有効に活用できるようにうまくリードしていくといいと思います。

教育指導課長

これもすみません、言葉が足りませんでした。実は、この作成に当たっては、各学校のいじめを考える児童生徒委員のメンバー、各中学校2名、小学校2名おります。ただ単に配ったのではなくて、配布に当たって、各生徒会、児童会の先生方に、こういうことをこういう意図でやりますので、ぜひつくった生徒たちが全校に呼びかける場をつくってくださいということで、7月20日以前に呼びかけをする機会を設けています。それから、第3回目のいじめを考える児童生徒委員会でも、そのときの全校の様子ですとか、そういったことをお互いに意見を出し合って、また9月1日に向けてのメッセージ発信につなげていきたいというふうに考えています。

以上でございます。

望月委員長

じゃ、児童生徒委員会に属している生徒は喜ぶでしょうよ。自分たちがつくったものを。ありがとうございました。

ほかにどうでしょうか。

—特になし—

望月委員長

それでは、次の「(6) 宝くじスポーツフェア ドリーム・ベースボール」についてお願いします。

スポーツ推進課長

それでは、「宝くじスポーツフェア ドリーム・ベースボール」について説明させていただきます。

まず、本事業の趣旨でございますが、一般財団法人自治総合センターの宝くじの社会貢献広報事業としまして、元プロ野球選手を中心といたしましたメンバーによります親善試合、指導者クリ

ニック、少年少女ふれあい野球教室など、全国各地で開催をいたしまして、青少年の健全な育成や明るいまちづくりなど、コミュニティ活動の充実、強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的としています。

このたび、本市が開催地として決定したことから、昨年度制定いたしました秦野市スポーツ推進計画に記載をいたします3つの視点「する・みる・ささえる」に係る事業を効果的に実施するため開催するものでございます。

次に概要でございます。

まず初めに、ドリームチームの主な参加選手でございますが、金田正一さん、張本勲さん、桑田真澄さん、神奈川県出身の若田部健一さんを含め、24名のプロ野球選手が参加予定となっております。

開催の日時につきましては、8月20日土曜日、21日の日曜日の2日間となっております。

会場につきましては、カルチャーパーク野球場、総合体育館を利用いたします。

内容につきましては、1日目の20日の土曜日なのですが、総合体育館、メインアリーナで、打撃部門を谷沢健一さん、守備部門を藤田平さん、投手部門を村田兆治さんが、指導者向けに行います指導者クリニックを開催いたします。

2日目、21日の日曜日になりますが、8時30分より野球場におきまして、小中学生約600人を対象にしました少年少女ふれあい野球教室。

また、10時30分より、総合体育館サブアリーナでは400勝投手、金田正一さんによります「私の野球人生」を議題といたしましたふれあい講演会を、12時よりドリーム抽選会、サインバット24本、グローブ24本、サインボール240個を抽選で贈呈していくということになります。ただし、12時までに来場された方ということになっております。

13時より、プロに挑戦ホームラン競争、13時30分より、ドリームチームと秦野市の選抜チームとのドリームゲームを開催いたします。

内容につきましては、以上でございますが、現在、総合体育館、カルチャーパーク管理事務所、公民館等で入場整理券を無料配布してございます。当初の予定配布数をオーバーしたところでは、追加配布をしている状況でございます。

また、現在、公募しておりますドリームチームとの記念写真。

望月委員長

現在4件。投手としてバッターに、打者としてピッチャーに、ピッチャーに挑戦をいたしますプロに挑戦が、現在4件となっております。これは、8月1日消印有効となっております。

説明は以上でございます。

ありがとうございました。

何か質問はありますでしょうか。

教育長

2日目のふれあい野球教室に教育長が挨拶で出なさいということです。自治総合センターが主催で、例年そういう形でやっているらしいですね。当日は600人の子どもたちということで、相当、各中学校の野球部、少年野球に声をかけて参加をしていただくということをやっているそうです。

望月委員長

スポーツ推進課長

各中学校、小学校、あるいはリトルリーグが参加するのですか。リトルシニア、あと、ボーイズという硬式のチームがありますので、軟式、硬式と両方の。教室は軟式ボールでやっていただくんですが、硬式チームも承知してもらおうというようなことで、秦野シニア、秦野ボーイズというチームにも参加。それは市内の中学生が入っているというようなことを聞いておりますので。

望月委員長

スポーツ推進課長

これは何年ぶりに開かれるんですかね。

これは初めてでございます。以前、平成25年度には、はつらつママさんバレーボールということで、東洋の魔女の方ですとか、丸山由美さんですとか、そういう方を25年度にお呼びいたしまして、事業はやったんですが、野球につきましては、初めてでございます。

望月委員長

せっかくこれだけの企画ですから、ぜひ天気であってほしいと思います。金田の講演も聞きたいですね。

質問ありますか。

飯田委員

スポーツ振興課長

ドリームゲームというのは軟式、硬式ですか。

これは軟式ボールで、軟式のチームは社会人チームがありますので、野球協会の理事長が監督となりまして、野球協会のほうで市のリーグに加盟している団体の中から選手を選んでということで、軟式で、真剣勝負でやると聞いていますので、先日、葛飾区のほうで5月15日にこの事業があったんですけども、視察に行ってきたところ、試合につきましては、3対0でドリームチームに勝ったんですが、ピッチャーは桑田選手でしたが、結構肩ができ上がっている状態で、真剣勝負でやったというふうに聞きました。

飯田委員

スポーツ推進課長

基本的に秦野市選抜は社会人。

社会人です。



飯田委員  
スポーツ推進課長  
望月委員長

生涯学習課長

中学生とかは。  
いません。  
ほかにどうでしょうか。  
都合がいたら行ってみてください。  
では、よろしいですか。  
ー特になしー

その他で追加があります。その前に、先ほど片山委員からご質問があった親子川柳大会の市外在学者の応募状況ですが、昨年度2件ありました。

続きまして、資料はありませんが2件について報告させていただきます。

まず、前回の会議で報告しました「ふれあい通学合宿」ですが、7月6日から9日まで39人の小学生が大根公民館で共同生活しながら実施しました。望月委員長が事前研修に、片山委員と内田教育長が会場を訪れ、活動を見守っていただきました。

この事業は、先ほど望月委員長のお話にもありました大根地区の「中学校区子ども育む懇談会」の構成団体を中心に、地元の商店会や長寿会、東海大学が実行委員会を組織して取り組んでいます。後日、実施報告書を作成していきますが、当日取材を受けたタウンニュースの記事を配布しましたので、後ほどご覧ください。

次に、秦野・中井・松田・大井・二宮・清川の1市4町1村の中学生が、東海大学の「望星丸」を利用して実施する「広域連携中学生交流洋上体験研修」についてですが、委員の皆様には、冊子になっている「研修のしおり」を配布していますが8月2日から4日の2泊3日で実施します。

参加者は全体で95人、そのうち本市の中学生は61人が参加します。内訳は本町が2人、南が18人、東が12人、北が2人、大根5人、南が丘8人、渋沢が10人、鶴巻が3人、市外が1人となっています。

また、先ほど教育長からも話がありましたが、実行委員の顧問という立場で内田教育長が、実行委員である南中学校の石井校長が統括責任者として参加します。スタッフとしては私を含め、1市4町1村の行政職員12人と、渋沢・西・堀川小学校、本町・南中学校の若手教員など6人が参加者の活動を支援していきます。

以上です。

望月委員長

では、今年の中学生洋上体験研修は、しおりの中のプログラムに沿って実施するということですね、2日の出発式が7時から西

生涯学習課長  
望月委員長

庁舎駐車場で行うということですね。

はい。

今年は、教育長も参加されるということで、もし教育委員さん、朝早くで大変ですが、時間があれば、出発式に参加されると、いろいろと様子をつかめるかもしれません。

ほかにどうですか。質問ありますか。

—特になし—

望月委員長

それでは、ほかにその他はございますか。

—特になし—

それでは、秘密会の前に、次回の日程調整をお願いいたします。

—次回の日程調整—

望月委員長

それでは、ただいまから秘密会といたしますので、関係者以外の退席を求めます。

—関係者以外退席—

〔削除〕

望月委員長

以上で7月の定例教育委員会会議は終わります。